

伍芳 (ウー・ファン) 中国古箏演奏家・作曲家

中国・上海生まれ。9歳より中国古箏の第一人者、王昌元氏より手ほどきを受ける。その後、中国で最も難関といわれる上海音楽学校に入学。古箏を中心にピアノや音楽の基礎理論などを幅広く勉強する。1990年7月同校を首席で卒業し、来日。

1996年9月に東芝EMIよりデビュー。日本における現在の中国楽器ブームの先駆けとなる。南こうせつ、東儀秀樹、溝口肇など数々のアーティストと共演。皇太子御夫妻の御前での演奏など、意欲的な演奏活動を行っている。さだまさし原作の映画「精霊流し」の音楽にも参加。グラミー賞を受賞したサックス奏者、KENNY G のジャパンツアー全箇所にゲストとして呼ばれる。

近年、教育活動にも積極的に取り組み、古箏教室を開き古箏の普及にも努めている。2010年上海万博においては、オリジナル曲を中心とした音楽劇「彩虹橋」で公演を行い、故郷である上海で自身の音楽活動にエポックを画するようなイベントとなる。また、2011年4月10日からは、ABCラジオにて毎週日曜日の朝8時40分～9時まで「伍芳 (ウー・ファン) のふらっと♪阪神沿線」でパーソナリティを務める。

2015年1月14日震災復興への祈りをこめたオリジナル曲「あのひとともに」を発表。2015年4月15日に通算11枚目のアルバムを発売予定。

中国の古典、現代曲だけでなくとどまらず、様々なジャンルに挑戦する一方で、他のアーティストへの楽曲提供など、作曲活動にも力を注ぐ。

Official Website <http://wufang.com>

<http://www.facebook.com/WuFangOfficial>



こそう ～古箏～

箏は中国の伝統的な民族楽器で弦楽器に属する弾撥弦楽器であり、日本のお琴のルーツでもあります。箏の歴史は古く、既に春秋戦国時代に秦の地で流行していました。初期は5弦だったともいわれていますが、漢代以降12弦、13弦のものが現れ、明、清時代から15弦、16弦となりました。最近

では、21弦、23弦、25弦などの箏が多く演奏されるようになり、箏は桐の木で作った長方形の音箱にスチールの上にナイロンと絹糸を巻いた弦を張り、柱で音階を調節しながら、右指先に三つまたは四つ玳瑁で作られた義爪をテープで固定して弾きます。最近では曲によって両手に義爪をつけて演奏するスタイルも増えてきました。古箏は華やかな音で、美しい叙情的な曲を表現できるほか、氣勢盛んな曲もよく表現する事ができます。

～ガラスの琴～

耐熱ガラスメーカーの HARIO が、職人の手吹きガラス成形の技術による世界初・世界最大となる「ガラスの琴」を製作。総勢20人のスタッフにより、琴のルーツとなる古箏を耐熱ガラスにて2006年に完成させた。



ヴァイオリン
中西俊博



ピアノ
フェビアン・レザ・パネ



篠笛
狩野泰一



ギター
鬼怒無月

ヤマハホールへのアクセス

東京都中央区銀座 7-9-14

TEL : 03-3572-3171



- 東京メトロ銀座線・丸ノ内線・日比谷線「銀座」駅 A3 出口より徒歩4分
- JR線・都営地下鉄浅草線・東京メトロ銀座線「新橋」駅より徒歩7分
- 都営地下鉄浅草線・東京メトロ日比谷線「東銀座」駅より徒歩7分